

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	34 広島県
市区町村名	34204三原市
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
34204三原市	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	三原市においては、各学校ごとに学校運営協議会と地域学校協働本部を設置して一体的に推進することとし、全小学校20校、中学校2校にコミュニティ・スクールを導入した。 未導入の中学校（8校）においてコミュニティ・スクールの理解を深め、導入数を増やすことが課題。また、導入済みの学校の取組や課題等を、共有することが必要。	未導入の全中学校（8校）において学校運営協議会委員を選任し、コミュニティ・スクールの理解を深めるために研修会（講演等）を実施する。 また、研修会（講演等）において、導入済みの学校の事例の発表等を行い、情報共有を図り、コミュニティ・スクールについて理解を深め、浸透を図る。	短期間で市内全小中学校への導入を進めるなかで、これから導入する学校に焦点を当てた研修を実施していた。導入済みの学校の取組状況の共有、また導入済みの学校でのコミュニティ・スクールが浸透しきれていない状況があった。研修会での導入済みの学校の取組の共有や、地域へのコミュニティ・スクールの浸透を図る。	令和7年度中に、研修会（講演等）を開催してコミュニティ・スクールの浸透を図り、未導入の全中学校（8校）において、学校運営協議会とともに地域学校協働本部を設置する（コミュニティ・スクールを導入）。	学校運営協議会の設置と地域学校協働本部が設置される学校（コミュニティ・スクール導入）数	20	校	30	30	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 今年度導入の全中学校（8校）において学校運営協議会委員を選任し、コミュニティ・スクールの理解を深めるために講演会（研修会）を実施することで、スムーズに導入をすることができた。 導入済みの学校の取組状況の共有、また導入済みの学校でのコミュニティ・スクールが浸透しきれていない状況があった。今後、研修会での導入済みの学校の取組の共有や、地域へのコミュニティ・スクールの浸透を図る。	https://www.city.mihara.hiroshima.jp/soshiki/46/159177.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。